

佐々井秀嶺さん「平等」訴え

日本出身僧、仏教復興に奮闘

【テンプル時教発祥の地インド、集落の井戸を使わせてもらえない事】日本からテ

印

度。タテを継いで身渡った仏教発祥の地インド、集落の井戸を使わせてもらえない事【テンプル時教発祥の地インド、集落の井戸を使わせてもらえない事】日本からテ

を解放しようと半世紀以上身をさげしてきた。

ツツの説いた道に従

う。10月12日、中部ツク

プルで行われた「大改宗

式。佐々井さんの迫力ある声

に続き、唱和が会場に響い

た。式にはインド仏教最高

指導者の一人である佐々井

さんの姿を見ようと、各地から

改革者だけで約1万5000

人が集まり、日本からも15人

が得度のため参列した。

佐々井さんは1935年、

現在の岡山県新見市生まれ

た。青年期に女性への執着に

苦しみ、幾度となく自己命を

絶つとした末、60年に得

インドでは、旧差別階級出身の初代法相アベードカ

と闘うことを決意した。

佐々井さんは、現地仏教界で

アベードカルの後継者を見

なされている。

03年には、ヒンズー教が支

配的な同国で少数派の意見を

反映させるための政府の委員

会に仏教徒代表として参画。

布教のほか、ヒンズー教徒の

管理下にある聖地の寺院奪還

運動などにも取り組んでき

た。

11年の国勢調査によると、

仏教徒人口は全人口の0.7

%の約84万人。ただ、政

府の優遇措置を受けるためあ

そヒンズー教徒を名乗る人

も多く、実際は1億5000

万人に上ると佐々井さんは見

積もる。

憲法上、カーストに基づく

差別は禁じられているが、佐

々井さんは、経済成長が続く

今でも差別は「十分ある」と

断言。学費を値上げすること

で貧困層が多い仏教徒の地位

向上を阻んでいるとして、ヒ

ンズー至上主義色の濃いモラ

イ政権を批判する。

清食を貫き、食事は信者が

らの供物のみ。「自分が極楽

浄土に行く」と報い(の気持

ち)を持ったら駄目。ただ、

一切の人を仏法に導く(のが

務め)と語った。



佐々井秀嶺さん(インド中部ナグプールの近郊) (時事)

差別からの解放 目指し半世紀

カースト制

インドで歴史的に形成された身分制度。バラモン(司祭)・クシャトリア(王族・武人)・バイシャ(庶民)・シユドドラ(隷属民)の四つの主要階層から成り、さらに細分化した集団も存在する。カースト外の旧差別階級クワトリットは汚れや差別の対象とされてきた。直近の2011年の国勢調査によると、クワトリットの人口は約2億人。現在も婚姻などさまざまな場面で差別が根強く残る。(時事)